

有磨学区(町・地区)まちづくり推進委員会

委員長 甲斐 昌基

(問合せ先) 958-3849 (有磨交流館)

事業内容

- (1) 魅力ある地域づくり事業
平和学習
視察研修『広島平和記念資料館』（5月27日）
人権平和パネル展
『戦争：広島原爆』（10月29日）
- (2) 健康・生きがい・支えあい事業
そとまちロードウォーキング
視察研修：西条酒蔵通り（5月27日）
- (3) 地域ぐるみの生活安全・環境事業
防災セミナー
『命を守る気象情報にするために』
（12月20日）
環境ポスター作成・学区内掲示
（2月 学区内ごみステーション）
芦田大谷砂留整備作業&新規調査
（11～3月）
- (4) つなぐ心・人・地域交流事業
ふれあい作品展（10月29日）
- (5) 広報誌発行事業 年3回 有磨交流館
- (6) コミュニティ育成事業
地域一斉清掃・地域交流行事など 通年
- (7) まちづくり推進委員会運営事業 通年
善行市民表彰の推薦と善行学区民表彰
選挙啓発

📍 平和公園にて



📍 そとまち
ウォーキング



📍 防災セミナー
講師：勝丸恭子さん



📍 ふれあい作品展

📍 人権平和パネル展



成果

協働のまちづくりの推進に向け、新型コロナ5類移行を踏まえて、行事の規模、内容の変更、開催時期を考慮するなど、安全を確保しながら適宜工夫して実施することができた。

課題

高齢者の割合が高い地域なので、行事内容や開催日、規模を変更するなどの各行事の「見直し」が必要だと思います。各団体役員への負担を軽減しつつ、役割の理解を高め、少しでも参加しやすい環境を整えていきたい。

課題解決にむけて

コロナ後の“新しい日常”のなか、地域のニーズに応えられるように、関係機関や各種団体との連携を図り、幅広い世代の活動の活性化と行事の見直し、人材（担い手）の育成に取り組んでいく必要がある。

地域ぐるみの生活安全・環境事業

芦田大谷砂留整備

2017年から「地域まちづくり計画推進事業」として整備をはじめました。現在は地域まちづくり推進事業の「地域ぐるみの生活安全・環境事業」として、自治会連合会、芦田大谷砂留を守る会（ボランティア）とまちづくり推進委員会の部会のメンバーで、整備保全活動を行っています。

2023年度は、5月21日に「現地研修会」を開催しました。岡山大学准教授の樋口先生を講師に迎え、6番砂留を実際に見学し、砂留の構造などを学びました。

👉 現地研修会



👉 整備作業の様子



本格的な整備作業は、11月12日（日）から3月10日（日）までの毎週日曜日の午前中に行いました。

本年度は、まず側道の木々の伐採や落石の除去から整備を始め、その後、6番砂留の排水工事、3・4番砂留の階段整備、広場や石積みの草刈りなどをメインに実施することができました。

天候不順で整備作業は2回中止になりましたが、大きなけがや事故もなく、みなさんのご協力により順調に進み本年度は無事終了、来年度以降に繋げました。



👉 調査の様子

『新規砂留調査』継続中！

今年度も通常の整備作業に加えて、新規砂留の調査が12月より始まりました。

岡山大学准教授の樋口先生と調査を進めたところ、2024年3月末まで計9回の調査で新たに73基の砂留が発見確認され、初年度からの調査で合計420基となりました。